

## \* 他人事ではない「認知症」 \*

最近、新聞やテレビでよく聞くワード、「認知症」！！  
以前は、「呆け」や「痴呆」と言われていましたが、  
現在、この言葉は使われていません。



「認知症」は「病気」であって、  
単なる「もの忘れ」や「年のせい」ではないんです！  
今回は、「認知症についての相談窓口」についてご紹介します☆

## 認知症について相談できる場所

### ● 地域包括支援センター

認知症の相談だけでなく、高齢者の総合的な支援を行うための拠点として設置されている総合機関です。主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの専門スタッフが、介護相談をはじめあらゆる相談にのってくれます。

### ● 認知症地域支援推進員 (社会福祉法人串間市社会福祉協議会)

認知症の人やその家族の様々な相談に応じ、サービスや機関につないでくれます。必要に応じて認知症初期集中支援チームに繋ぎ一緒に支援を行います。

### ● かかりつけ医

認知症になる以前から本人の健康状態や持病などを把握してくれているので、相談がスムーズに行えます。



### ● 認知症の人と暮らす家族の集い



認知症の方の介護をしているご家族が集い  
同じ悩みをもつ仲間同士で情報交換を行うことができます。

## 介護保険の目的は「自立支援」です！！

介護保険は、サービスを使うことによって、高齢者のみなさんが  
「元気！」になることを応援するものです！

「介護保険にお世話になる」のではなく、

「介護保険をつかって元気になる！」を合言葉に、

いつまでも住み慣れた自宅で生活できるようにしましょう♪”



## \* かけがえのない地域づくり \* ★ ☆

気の合うご近所数人で日常的に行うお茶のみ会などを訪ねてみると、その地域の方の暮らしが見えてきます。



生活支援コーディネーターが、こうした地域の集いの場でみなさんに『定期的に集うことで、いつも一緒にいる人同士の変化が分かり、困った時には支え合いができるよ！』という意味を呼びかけて来たところ、月に1度、みんなで集う場が誕生したところもあるそうです。顔見知りになればお互い安心して行き来ができ、自然に支え合いも生まれます♪

地域の支え合いね！！



## 支え合いの輪を広げるネットワーク

ご近所や地域などで取り組まれる支え合いの活動と同時に、活動者や団体が情報交換をするなどの「協議の場」も大切な輪を広げるネットワークづくりになります。

## 串間にあっというね！

地域にあっというね！と思うものは、すでに住民のみなさんも気づいていることが多いと思います。まずは、できている活動から考えて**あっというね**という活動に取り組むきっかけづくりと一緒に考えてみませんか？

その活動が、まさに**地域づくり**につながります♪

【ご連絡先】串間市社会福祉協議会 Tel 72--6943  
生活支援コーディネーター (担当 鍋倉)

